



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成30年
10月16日
第4号

最近日は暮れるのもめっきり早くなり、日に日に夜が長くなってきたなと感じるところです。

先生方は忙しい毎日をお過ごしと思いますが、たまには早く帰る日を決めて、長くなってきた夜の時間を自分のために使ってみてください。そのような時間の使い方もきっと、目の前の子どもたちのためになるのではないのでしょうか。



子どもたちの可能性を伸ばす 通級指導教室 ～第4回通級指導担当者会 in 津田小学校～

現在、廿日市内で通級指導教室が設置されている学校は、廿日市小学校・平良小学校・宮内小学校・津田小学校・大野東小学校・大野西小学校の6校です。そのうち、廿日市小学校に佐方小学校の児童が、宮内小学校に地御前小学校・金剛寺小学校の児童が、保護者の送り迎えを原則に通うことができます。また、津田小学校は、巡回型で担当教員が、曜日によって友和小学校・吉和小学校に行き指導を行っています。平成32年度を目途に、廿日市内のどの小学校に通っていても、通級による指導が受けられる環境を整備しようと、年々設置校を増やしています。

毎年、通級指導を行う教員の資質・能力の向上を目指し、通級指導担当者会を行っています。昨年度まで年間3回実施していた担当者会ですが、今年度より年間5回に拡大し、毎回テーマを設けて研修しています。また、通級指導について担当者以外の先生に知っていただくこと、通級指導を行う人材の育成を目的として、オブザーバー参加を受け付けることもしています。

平成30年10月1日（月）に津田小学校で、第4回通級指導担当者会を行いました。今回のテーマは、「ソーシャルスキル」でした。津田小学校藤本容子先生の通級指導の実践ビデオを鑑賞した後、意見交換を行いました。児童は、大変意欲的にたくさんの課題に取り組み、その都度藤本先生から肯定的な言葉をかけてもらい、安心して楽しく学習していました。

山田特別支援教育士の講話から、子どもの本音をどう引き出すか、子どもに語らせることが大切なポイントであることを学びました。



部活動指導の充実と教職員の負担軽減を図ります ～子ども、先生方を支える職員の仕事紹介～

この9月から、市内中学校に5名の**部活動指導員**を配置しています。今回は、大野中学校女子バスケットボール部で生徒と学校を支援している部活動指導員にお話をうかがいました。



大野中学校女子バスケットボール部で部活動指導員をしている**泉紗代**さんは、昨年度より大野中学校で保健体育科の非常勤講師として勤務されており、今年度9月からは部活動指導員としても勤務されています。ご自身がバスケットボールのプレーヤーとして経験したこと、教わったことを少しでも子どもたちに還元できたらという思いから、部活動指導員を始められたとのことでした。

指導をする上で大切にしていることは、バスケットボールを小学校から続けている子、中学校から始めた子、どんな子に対しても押し付けにならないように指導すること。

生徒に「次はいつ部活に来てくれますか？」と言われた時などは、うれしく、そしてやりがいも感じるとのことでした。

3年担任でもある顧問の先生からは、「放課後の時間を外部機関との連携や、3年生の学力補充に充てるできるようになりました。部活顧問の負担が大きく減るだけでなく、生徒のためや、学年の仕事のために費やす時間ができることも大変ありがたいです。」という話をうかがいました。

市教委としても来年度は、さらに部活動指導員を増員していきたいと考えています。



他にも、特別支援教育支援員、読書活動推進員、生徒指導アシスタント（小学校）、心の教室相談員（中学校）、ICT支援員、教務事務支援員など、多くの非常勤職員が子どもたちや先生方を支えています。

はつかいち平和・ほほえみコンサート 2018

市制施行 30 周年を記念して、はつかいち平和の祭典実行委員会による「はつかいち平和・ほほえみコンサート（小学校訪問コンサート）」を開催しています。これは、今年で第 30 回を迎えた「はつかいち平和コンサート」の平和・共生への思いをさらに広げるため、平和コンサートのソリスト等、地域で評価の高い演奏家が市内 17 小学校を訪問して演奏を行う「小学校への訪問コンサート」を実施するものです。



平良小 田中先生
(音楽専科) より



コンサートではソプラノ歌手によって美しく表現される曲に、子どもたちは惹きこまれるように聴いていました。さらに曲が作られた背景なども教えていただいたことにより、より深い味わいをもって一緒に歌うことができました。

ピアノやヴァイオリンの演奏なども大変新鮮で、良い音が大変近い距離で聴かせていただきました。演奏会後改めて、音楽を通して「素敵だな」「きれいだな」「楽しいな」と感じる「心」を大切にしていきたいと私自身も感じています。

良い機会をいただき、ありがとうございました。

もし可能であれば、毎年 4 年生にこの機会を位置づけさせていただき、全ての児童が 6 年間で 1 度は経験させていただければ幸いです。



平良小(4年生)での様子

コンサートの内容は、平和・共生の理念が込められた、わが国の貴重な文化である童謡唱歌・クラシックの名曲、そして子どもたちの心の財産になるべき各校の校歌の演奏(合唱)等です。文部省唱歌の『紅葉』や『故郷』の歌詞を朗読した後みんなで合唱したり、『小さな世界』を振り付けながら演奏者と一緒に歌う時間では、子どもたちは大きな声でリズムを取りながら楽しく参加していました。質の高い音に生で触れることが、子どもたちの心の深さ、広さ、あたたかさにつながることを願います。終了後は、子どもたちが演奏者と直接言葉を交わしたり、楽器を近くで見せてもらったりと、興味や憧れを抱く子どもたちの姿を見ることが出来ました。演奏者の今後の活動にも良い影響を与える機会になり、嬉しく思いました。

平良小児童の感想

- 松本さんが色々なことを教えてくれたので、とても勉強になったし、その中で一番勉強になったのが、平和のことです。そのことで、私は平和のことがまた一つ学べたと思いました。それにもっともっと音楽のことを知りたいし、音楽の工夫や、音楽ではどうすればきれいに出るか、どうやったら楽器はきれいな音が出るかを次は学びたいと思います。
- 私は、歌声や音楽をきいてびっくりしました。生歌をきいたし、勉強になりました。ソプラノの枝松さんは、約 100 名の人に大きな歌を聴かせてくれました。ヴァイオリンの今井さんは『愛の挨拶』を最初に演奏してくれて、すごいと思いました。ピアノの渡部さんは、『子犬のワルツ』をすごく速くひいていて、目がとび出るほどでした。



認める・褒めるは「具体的に」!

本市が「つながり支援プロジェクト」を取り組み始めて 4 年目を迎えました。それを受け、「自己有用感」を育む視点でそれぞれの学校で特色を生かし、工夫した取組が進められています。

今回は、野坂中学校の取組をご紹介します。

学校を訪問すると、校舎の至るところに生徒の作品や学習の足跡、成長の証等、掲示してありますが、その中でも階段の踊り場ごとにひと際人目を惹く掲示物があります。それは学年のコーナーです。



1年生

2年生

3年生

つながれ! 広がれ! 「宝の山」

学年の掲示物について、研究主任の灰谷先生に聞いてみると、平成 27 年よりスタートした「つながり支援プロジェクト」の趣旨を受け、生徒の自己有用感を高める取組の 1 つとして始めたとのことでした。

1 年間を通したストーリー性のある掲示物になっていて、例えば、3 年生の掲示物のテーマは「桜」で、花びら(よさを書いたメッセージカード)が卒業するときに満開になるように年間を通したものになっています。様々な教育活動を通して「教師から生徒へ」「生徒から生徒へ」とすべての生徒のよさをメッセージカードで具体的に認めたり褒めたりするようにしているそうです。

(メッセージカードの一部抜粋)

- ・〇〇さんの美術室の掃除、素晴らしいです。特に雑巾がけで、しっかり膝をつき、隅々まで手を伸ばしてピカピカの床にしてくれました。感謝!
- ・歌うとき、すごく大きい声で歌ってくれて、音がとりにやすくすごく歌いやすかったです。自分も〇〇さんみたいに声が出せるようにがんばります。

掲示物の見た目もさることながら、先生方がメッセージカードに書かれている内容がとても具体的なことに感心しました。先生が「よさを認める視点」を示すことが、生徒が友達のよさを見つける視点につながっていて、読んでみると何だか温かい気持ちになりました。また、ここに 1 つ宝物を見つけました。

廿深!! 『学びの変革』④

「学びの変革」全県展開がスタートして、半年が過ぎました。皆さんの学校では、「学びの変革」は進んでいますか。日々の授業づくりや単元計画の作成等の改善について、明確な視点をもって振り返りを行っていますか。

先日、各学校における「学びの変革」の進捗状況について、アンケートを行いました。ほとんどの学校において「計画通り実施している」との回答をいただきましたが、その中から、校内研修の活性化につながる取組の参考となる事例をいくつか紹介します。下半期の取組にぜひ生かしてください。

参考に!

「学びの変革」全県展開に係る取組事例

◆カリキュラム・マネジメントに関する校内研修の実施について

- ・「カリキュラム・マネジメント」について教職員で共通認識を図った。
- ・育てたい資質・能力を踏まえ、「総合的な学習の時間」等の年間指導計画について見直しを行った。

◆「課題発見・解決学習」の実践のための事例集」の活用について

- ・事例集の中から 1 事例を選び、本校の研究内容に沿った視点で、そのよさと学ぶべき点について話し合った。

◆「課題発見・解決学習」の取組の確実な実践について

- ・全体研修後すぐに改善案を作成し、別クラスで実施するという事後研修を充実させることができた。

◆廿日市市で作成した「開発単元集」の活用について

- ・中学校校区の夏季研修会において、5、6 年生の総合的な学習の時間の単元計画を資料とし、実践を発表した。
- ・本年度の年間指導計画に「課題発見・解決学習」を位置付ける際に活用した。

◆「課題発見・解決学習」振り返りシート」の活用について

- ・研究授業の際、参観者が「振り返りシート」を持って参観することで、「既知の知識や経験、他教科等の既習事項の活用」では、関連性を考えながら参観できた。